

講演：「いつまでも光り輝く故郷のために」何をしたらよいのか？

子どもの幸せ部長 田中 けい子

第43回「子どもの幸せを考える研究集会」が、令和5年11月26日（土）高崎市民活動センター・ソシアス市民ホールにて開催され、ユネスコ会員や小中学校の校長先生、PTA役員など80名の皆さんが講演を聞いて学びました。

講師は糸井ホールディングス代表取締役社長糸井丈之氏。総合リサイクル業を始めプロ



野球ダイヤモンドペガサスやeスポーツの経営と幅広くご活躍される著名な方です。

初めに自己紹介の中で、小中学校の時の教師との出会いなどの体験に触れ、「それが今の自分の人各形成にも関わっている」そして「人との出会いを大切にして、年上に可愛がられ、同僚に頼りにされ、後輩に慕われる社会人でありたい」と続けられました。

「会社経営にあたっては、会社の繁栄、社員の幸福、地域社会への貢献を三位一体で実現できるよう取り組んでいる。会社や自分が社会に必要とされる存在になりたい」という思いから「活力ある人たちを集めて、地元高崎をもっと元気になりたい」とプロ野球球団経営を開始。また、eスポーツは特別支援学校の授業の一環として取り入れ可能、「男女、年齢、障害の別なくでき、地域の活性化につながる」との考えから経営を始められました。

その他、目に見える社会貢献としては、城南野球場の電光掲示板とナイター照明を設置。現在は高崎イオン南側に多目的屋内練習場を建設中です。

これから大人になる子どもたちに光り輝く故郷を残すために、氏の座右の銘「利他の心」や「動機善なりや、私心なかりしか」にならない、自分や会社の利益だけでなく、地域や社会のためになっているか照らし合わせ、人を大切にして社会貢献もできる行動、生き方をしたいと思いました。